



をいちゃんと一緒に紀の国わかやま大会を応援!



2015 紀の国 わかやま大会

Vol.10 (平成27年3月発行)

第15回全国障害者スポーツ大会広報紙

かつどうほうこく

活動報告

大会メダルが完成しました!

▶表面に県木ウバメガシをデザイン



◀裏面には点字
で順位を表記

1位から3位の入賞選手の功績を称え授与される大会メダルが完成しました(左写真)。県木ウバメガシを描いた表面は、紀州材のヒノキを素材に紀州漆器の技法を用いた美しいメダルに仕上がりました。制作を手がけた紀州漆器協同組合のお二人にお話を伺いました。



◀時絵を担当した橋本さん

木地の考案から下地の塗装までの工程を担当された奥野漆器店の奥野さんは、「これほどまで薄い木地の加工は漆器で例がなく、木地の反りと痩せ、そこを如何にクリアするか、が課題だった。」と語ります。組合の知識と技術を結集し、約5ヶ月間の試行錯誤を経て、1mmにも満たない非常に薄い木地を3枚張り合わせたものに何度も塗装と研磨を繰り返すことで完成しました。ウバメガシの時絵は、橋本漆芸の橋本さんが担当されました。本来、時絵は日本の花のモチーフが多く、葉のみというのは初めての試み。この美しい緑のグラデーションは、皆さんで話し合いようやくこの形になりました。1色塗っては乾かし、また次の色を重ねるといふ作業を1つ1つ手作業で行っているため、色合いが2つと同じものはありません。



◀木地の考案・塗装を担当した奥野さん

最後に、奥野さんはメダルに込めた思いを「選手にとって一生残るものから、いいものを、と思い制作した。喜んでいただければ。」と、橋本さんはこのメダルを目指す選手への思いを「この金・銀・銅を手に入れるということは、すぐく努力をした結果やろうし、とても立派。」と語ってくれました。

花いっぱい運動に参加しよう!

「花いっぱいの和歌山」で全国から訪れる来県者をお迎えするため、みんなで花いっぱい運動に参加しよう!

県実行委員会では多くの方に参加いただけるよう、

- ①プランターで花を育てる「花のリレー(個人版)」
- ②花壇に立て札を立てて応援する「花の応援団」

のメニューを用意し、3月16日から募集を開始します。



詳しくは、県実行委員会WEBサイトまたは、花いっぱい運動担当課(県庁総務企画課 電話:073-441-2578)

までご連絡ください。



きいちゃんの
ワンポイント手話! 5

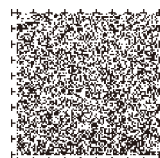
“おめでとう”

指を上に向けてつまんだ両手を下から上へあげながら開く。(クラッカーがはじける様子を表しています)



●挨拶(おはよう、こんにちは、お疲れ様です)等の簡単な手話を動画でもご紹介していますので、ぜひご覧ください。

<http://www.wakayama2015.jp/taikai/supports>



2015 紀の国 わかやま大会

第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

平成27年 10月24日(土) ▶ 10月26日(月)

競技用車椅子を使用するバスケットボールで、スピード感や車椅子同士の激しいぶつかり合いが見応えのあるスポーツ。リングの高さ、コート、ボール等は一般バスケットボールと全く同じです。プレイヤーには障害の程度に応じて1.0から4.5までの持ち点が決められており、コート内の5人の持ち点の合計が14点を超えてはいけないというルールが設けられています。また、ボールを持ったまま3回車椅子をこごとトラベリングとなります。車椅子バスケットボールは、10月24日、25日に、和歌山市の武道・体育センター和歌山ビッグウエーブで行われます。



わかやまけんたいひょう 和歌山県代表チーム紹介

“琴の浦バスケットボールクラブ”



わかやまけん ゆいいつ 和歌山県で唯一の車椅子バスケット

ボールチーム「琴の浦バスケットボールクラブ」。車椅子バスケットボールは、車椅子に乗れば、障害がある人もない人も参加できるスポーツ。そのため、健常者の方も3名ほど部員として活動しています。このクラブのメンバーを中心に県代表チームが編成されます。競技を始めて10年、チームを率いるキャプテンの山下選手。この競技の魅力について「シュートやな。イスに乗って動きながら打つからね。」と教えてくれました。通常と同じ高さのゴールに、座った状態でシュートを決める様子は圧巻です。紀の国わかやま大会に向けて、「とにかく1勝はしたい。」と強い意気込みを聞かせてくださいました。

やました あつみ 山下敦美選手



しょうがっこう 小学校で車椅子バスケットボール体験を実施!

大会を機に障害者スポーツへの関心を高めるとともに、障害への理解を深めていただくため、和歌山県代表チームの山下敦美選手、林秀樹選手、木村涼央選手の3名を講師に招き、田辺市立新庄第二小学校で車椅子バスケットボール体験教室を実施しました。生徒たちは車椅子を使ったスポーツは初めてで、最初はまっすぐ進まなかったり、回転してしまったりしていましたが、選手が車椅子の動かし方やシュートのコツなどを教えてくれ、最後に選手と一緒にチーム対抗で行った試合では、一生懸命車椅子をこいでボールを追いかけたり、シュートを決めたりと、歓声を上げながら車椅子バスケットボールを楽しんでいました。



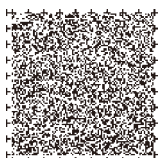
けんりつ わかやま こうぎょうこうとうがっこう 県立和歌山工業高等学校製作 「BSOカウントボード」

わかやま こうぎょうこうとうがっこう 和歌山工業高等学校の生徒が約1年を引渡式を実施

かけて製作してくれた「BSOカウントボード」がお披露目され、製作のお礼としてきいちゃんのぬいぐるみが贈られました。製作した機材工作部の杉山竜都さんは、製作過程での苦労話とともに、「頑丈なものができた。大切に長く使って欲しい。」と話してくれました。

6月7日(日)のリハーサル大会が最初の活躍の場面です。ぜひ会場にお越しいただき、選手の応援はもちろん、手づくりのボードにもご注目ください!

※BSOカウントボードは、ボール(B)、ストライク(S)、アウト(O)をカウントする競技用具で、紀の川市粉河運動場で実施されるソフトボール、フットベースボールと紀の川市打田若もの広場で実施されるグランドソフトボールの3競技で使用されます。



2015 紀の国 わかやま大会

第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

平成27年 10月24日(土) ▶ 10月26日(月)

ホームページは 紀の国わかやま大会

検索

第15回全国障害者スポーツ大会広報紙

2015 紀の国 わかやま大会 Topics

Vol.10 (平成27年3月発行)

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 和歌山県国体推進局 障害者スポーツ大会課 (紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会事務局)
Tel.073-441-2572 Fax.073-427-5388
URL <http://www.wakayama2015.jp/>